

都市再生整備計画 事後評価シート

桐生市歴史的風致維持向上地区

令和7年2月

群馬県桐生市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県		市町村名	桐生市		地区名	桐生市歴史的風致維持向上地区			面積	267ha			
交付期間	平成31年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	189.8百万円+174.2百万円	国費率	48.8%・45%					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	都市構造再編集中支援事業	地域生活基盤施設:情報板、高質空間形成施設:緑化施設等「市道1-37(山手通り)」外4路線										
			都市再生整備計画事業	地域生活基盤施設:情報板・広場、高質空間形成施設:緑化施設等「市道1-37(山手通り)」										
		提案事業	都市構造再編集中支援事業	まちづくり活動推進事業:コミュニティバスの試験運行(社会実験)										
			都市再生整備計画事業	まちづくり活動推進事業:ワークショップ										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	都市構造再編集中支援事業	高質空間形成施設:緑化施設等「市道10386,10193,10382(美和様辻子)」	重伝建地区を中心に整備を行うため、地区から外れている美和様辻子については次期計画で検討する事になったため。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
			都市再生整備計画事業	街なみ環境整備事業	建造物修理修景補助事業を予定していたが、事業実施の見込がなくなったため関連事業へ移行。			影響なし						
		提案事業	都市構造再編集中支援事業	事業活用調査:社会実験(市道10536)	事業進捗に伴い、地元住民の歴史的意識が向上され、酒屋小路の活用に理解が得られ、社会実験の必要が無くなったため。			影響なし						
			都市構造再編集中支援事業	高質空間形成施設:歩行支援施設、障害者誘導施設等(東久方町子ども広場バリアフリー対応公衆トイレ)	観光客が快適に周遊できるように、周辺地域の既存の公衆トイレをバリアフリー対応に改築を行うため。			影響なし						
		新たに追加した事業	都市構造再編集中支援事業	事業活用調査:事後調査	都市再生整備計画事業の次期計画を作成するため。			影響なし						
			交付期間の変更	当初 変更	平成31年度～令和5年度 —	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—						
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値	目 標 値		数 値		目 標 達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
		指標1	山手通り横断した歩行者数	人	21	H30	42	R5	モニタリング	評価値	47	○	あり なし	山手通り周辺の景観整備や情報板設置などの情報発信により、まちの魅力が向上し、人の往来が増え目標達成に至った。
指標2		歴史的風致形成建造物指定件数	件	3	H30	15	R5			16	○	あり なし	周辺整備の影響により歴史的意識が向上され、建物所有者との合意形成等が容易に理解が得られ目標達成に至った。	—
指標3		新規イベントの開催件数	件	1	H30	6	R5			12	○	あり なし	まちなかを元気にしていく取り組みが関係機関に浸透しており、その結果として目標達成に至った。	—
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値	目 標 値		数 値		目 標 達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	その他の数値指標1	なし	—	—	—			モニタリング	評価値	—		—	—	
4)定性的な効果発現状況	なし													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング			・計画期間中の公園側から伝建地区側へ山手通りを横断した歩行者数などの交通量調査を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●		・継続について検討する。		
	官民連携による取組			・令和元年度に、住民参加のワークショップを4回開催し、歴史的建造物や街並み調和した環境整備について意見交換を行った。 ・まちづくり会社 UNIT KIRYU 株式会社の設立。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●		・今後も継続して住民と共にまちづくりを進める。 ・まちづくりの担い手として、まちなかの賑わいや交流の創出に向けて支援していく。		
	持続的なまちづくり体制の構築			歴史まちづくり講演会や歴史的有形建造物等の動画配信による啓蒙活動を実施した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●		・今後も継続して啓蒙活動を行う。		

様式2-2 地区の概要

桐生市歴史的風致維持向上地区(群馬県桐生市) 都市構造再編集集中支援事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 桐生新町伝建地区と桐生が岡公園の一体的かつ歴史的環境に配慮した整備により、歴史、伝統文化を活かした観光振興と地域活性化を目指す		山手通りを横断した歩行者数	単位: 人	23	H30	42	R5	47	R5
目標1: 桐生ならではの暮らしの姿や景観について、その魅力を高め後世に引き継ぐ歴史を活かしたまちづくり		歴史的風致形成建造物指定件数	単位: 件	3	H31	15	R5	16	R5
目標2: 歴史的な「価値」や「良さ」の再認識と郷土に対する愛着を持てるまちづくり		新規イベントの開催件数	単位: 件	1	H30	6	R5	12	R5
目標3: 来訪者が魅力を感じ、周遊しながら堪能できるまちづくり									

■基幹事業
街なみ環境整備事業
桐生市歴史的風致維持向上地区

■基幹事業 ①
高質空間形成施設(緑化施設等)
市道1-24(買場通り)

■基幹事業 ②
地域生活基盤施設(情報板)
桐生市歴史的風致維持向上地区

■基幹事業 ③
高質空間形成施設(緑化施設等)
市道1-37(山手通り)

■基幹事業 ④
高質空間形成施設(緑化施設等)
市道10394(あびす通り)

■基幹事業 ⑤
高質空間形成施設(歩行支援施設、障害者誘導施設等)
東久方町子ども広場バリアフリー対応公衆トイレ

■基幹事業 ⑥
高質空間形成施設(緑化施設等)
市道10396(横町通り)

■基幹事業 ⑦
高質空間形成施設(緑化施設等)
市道10536(酒屋小路)

□提案事業 ⑧
まちづくり活動推進事業(コミュニティバスの試験運行) 社会実験
桐生市歴史的風致維持向上地区

□提案事業
事業活用調査(事後調査)
桐生市歴史的風致維持向上地区

⑧ コミュニティバスの試験運行

凡 例

- 基幹事業
- 提案事業
- - - 関連事業

① 買場通り美装化工事

② 情報板設置工事

③ 山手通り歩道橋美装化工事

⑤ バリアフリー対応公衆トイレ設置

⑥ 横町通り美装化工事

⑦ 酒屋小路美装化工事

まちの課題の変化

- ・伝建地区の緩衝帯として道路美装化工事を行うことで地元住民の歴史的意識が向上された。
- ・山手通り周辺の景観整備や情報板設置などの情報発信により、人の往来が増えた。
- ・ネットフェンスを景観に優れた転落防止策に変更し歩道橋を美装化した。新たに足元灯の設置を行い歴史的な雰囲気や景観の再整備を行うことができた。
- ・周辺整備による歴史的風致としての魅力の向上や、空き店舗補助金により、空き店舗を活用するなど若年層の働き口の確保につながった。
- ・インバウンド向けの古民家を再利用した宿泊施設の開業あり、生活環境の保全と観光振興を両立させた地域の活性化につながった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・歴史的な、景観・修景を維持し、観光客だけでなく市民にも快適で魅力ある適切な維持管理を行っていく。
- ・歴史的風致維持向上地区にふさわしい面的な道路美装化や遊園地等と桐生新町伝建地区との周遊性の向上のための道路整備など周辺への波及効果の高い整備を行っていく。
- ・歴史的な形成建造物や空き店舗・古民家再生のための支援を行っていく。

様式2-2 地区の概要

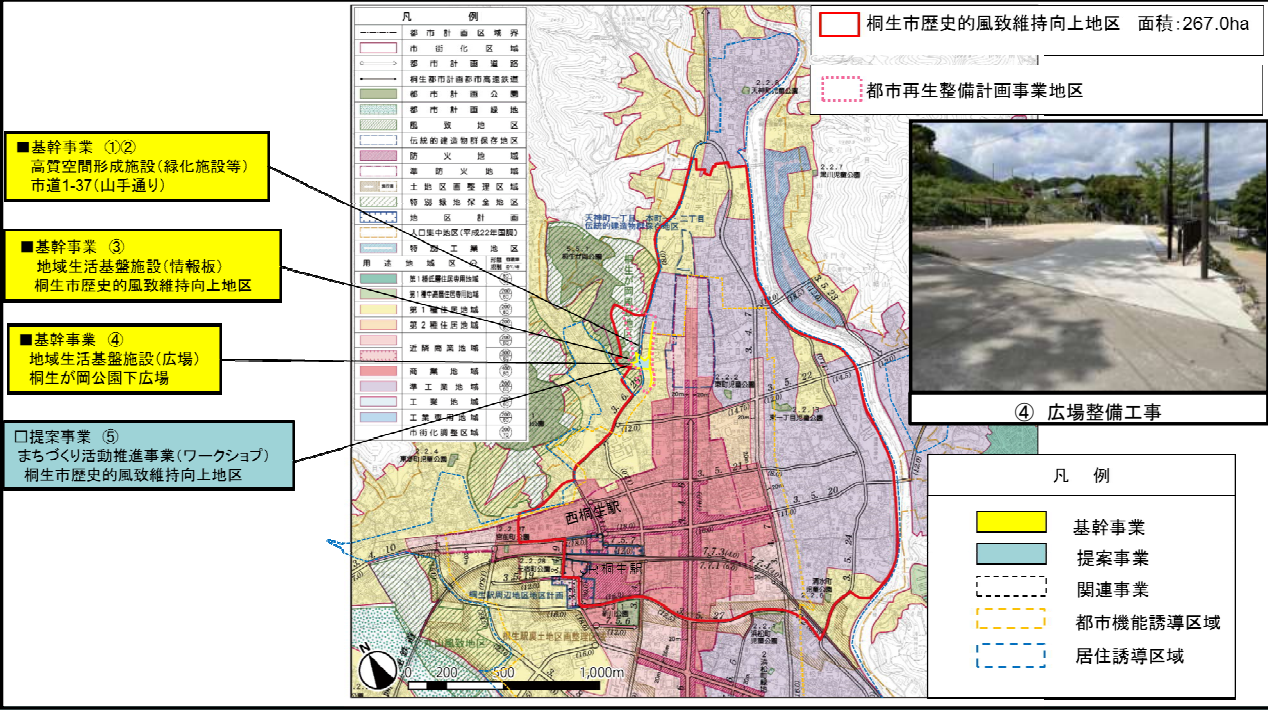
桐生市歴史的風致維持向上地区（群馬県桐生市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：桐生新町伝建地区と桐生が岡公園の一体的かつ歴史的環境に配慮した整備により、歴史、伝統文化を活かした観光振興と地域活性化を目指す		山手通りを横断した歩行者数	単位：人	23	H30	42	R5	47	R5
目標1：桐生ならではの暮らしの姿や景観について、その魅力を高め後世に引き継ぐ歴史を活かしたまちづくり		歴史的風致形成建造物指定件数	単位：件	3	H31	15	R5	16	R5
目標2：歴史的な「価値」や「良さ」の再認識と郷土に対する愛着を持てるまちづくり		新規イベントの開催件数	単位：件	1	H30	6	R5	12	R5
目標3：来訪者が魅力を感じ、周遊しながら堪能できるまちづくり									



① 山手通り歩道美装化工事



② 山手通り歩道橋美装化工事



桐生市歴史的風致維持向上地区 面積：267.0ha

都市再生整備計画事業地区

■ 基幹事業 ①②
高質空間形成施設（緑化施設等）
市道1-37（山手通り）

■ 基幹事業 ③
地域生活基盤施設（情報板）
桐生市歴史的風致維持向上地区

■ 基幹事業 ④
地域生活基盤施設（広場）
桐生が岡公園下広場

□ 提案事業 ⑤
まちづくり活動推進事業（ワークショップ）
桐生市歴史的風致維持向上地区

凡 例

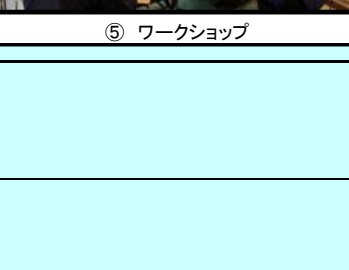
- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域



③ 情報板設置工事



④ 広場整備工事



⑤ ワークショップ

まちの課題の変化

- ・伝建地区の緩衝帯として道路美装化工事を行うことで地元住民の歴史的意識が向上された。
- ・山手通り周辺の景観整備や情報板設置などの情報発信により、人の往来が増えた。
- ・ネットフェンスを景観に優れた転落防止策に変更し歩道橋を美装化した。新たに足元灯の設置を行い歴史的な雰囲気や景観の再整備を行うことができた。
- ・周辺整備による歴史的風致としての魅力の向上や、空き店舗補助金により、空き店舗を活用するなど若年層の働き口の確保につながった。
- ・インバウンド向けの古民家を再利用した宿泊施設の開業あり、生活環境の保全と観光振興を両立させた地域の活性化につながった。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

- ・歴史的な、景観・修景を維持し、観光客だけではなく市民にも快適で魅力ある適切な維持管理を行っていく。
- ・歴史的風致維持向上地区にふさわしい面的な道路美装化や遊園地等と桐生新町伝建地区との周遊性の向上のための道路整備など周辺への波及効果の高い整備を行っていく。
- ・歴史的な形成建造物や空き店舗・古民家再生のための支援を行っていく。